

発議案第22号

学校施設の暑さ対策におけるエアコン設置について早期の対応を求める決議
について

上記の発議案を別紙のとおり会議規則第14条第1項の規定により提出します。

平成29年9月6日

八千代市議会

議長 成田 忠志 様

提出者	八千代市議会議員	木 下 映 実
	同	緑 川 利 行
	同	正 田 富美恵
	同	末 永 隆
	同	立 川 清 英
	同	西 村 幸 吉
	同	林 利 彦
	同	江野沢 隆 之
	同	伊 東 幹 雄
	同	林 隆 文
	同	横 山 博 美
	同	小 澤 宏 司
	同	山 口 勇
	同	河 野 慎 一
	同	松 崎 寛 文

同	堀	口	明	子
同	植	田		進
同	伊	原		忠
同	原		弘	志
同	橋	本		淳
同	塚	本	路	明
同	奥	山		智
同	菅	野	文	男
同	高	山	敏	朗
同	三	田		登

提案理由

執行部に対し、学校施設の暑さ対策におけるエアコン設置について早急に取り組むよう強く求める。

これが、本案を提出する理由である。

学校施設の暑さ対策におけるエアコン設置について早急な対応を求める決議

市内の公立小中学校へのエアコン設置については、これまでに市民からの請願や陳情での要望も多く、議会としても学校施設における暑さ対策の早期検討について決議する等、強く要求してきている。

このような中、第4次総合計画後期基本計画では、小中学校校舎空調設備事業が位置付けられ、防音のため窓を閉める音楽室等の特別教室、夏季休暇中も使用する職員室等の管理諸室、利用頻度の高い図書室等へのエアコン設置の整備が平成32年度までの完了を目途として、実施されている。

一方、普通教室については具体的な計画がなく、扇風機が設置されてはいるが、近年では、夏休み前でも日中30度を超える真夏日も珍しくないため、冷房設備としての機能を果たしているとは言い難い。そのため、子供たちが勉学に集中できないといった学習環境への影響や熱中症による健康被害が懸念される状況となっている。

平成29年6月発表の文部科学省の調査結果によれば、千葉県内の小中学校における普通教室へのエアコン設置率は44.5%であり、3年前に行われた同調査結果の24.3%と比べ、着実に整備が進められている。本市においても、財政状況が厳しいことは十分認識しているが、喫緊の課題であることに変わりはない。

以上のことから、未来を担う子供たちのためにも、市内の公立小中学校のエアコン設置箇所の優先順位を見極めながら、現計画の拡大や前倒しも検討し、学校施設の暑さ対策におけるエアコン設置について早急に取り組むよう求める。

以上、決議する。

平成29年9月27日

八千代市議会